Ｒ７年度　市川中学校校内研究の概要

Ｒ７．５．８

１　研究主題

主体的・対話的な学びを通した楽しいと感じる学校づくり

～自分事として捉え、意見交流を深める道徳の実践～

２　主題設定の理由

市川中学校では、これまで文部科学省からの「学力向上拠点形成事業」、「英語教育強化地域拠点事業」の指定を受け、その期間に小集団の導入、テスト前の取組表の活用などの土台が作られてきた。その後、授業づくりと集団づくりの実践を通して生き生きと意欲的に学び合う生徒の育成を目指し、学ぶ意欲や学力向上の基盤として「集団づくり」が重要であることが確認された。これまでの成果として、生徒は落ち着いた学校生活を送り、学習に向かう雰囲気が定着していると感じられる。また、近年は「教科担任制推進事業」の研究推進指定校として、市川小学校、市川東小学校との３校で「教科担任制」について研究を進め、教科担任制の導入を実証し、具体的な効果や課題を示すとともに、課題解決の過程等を、県内の学校に随時発信することができた。

昨年度は、再任用の先生方も含めた教員同士が毎日の学校生活の中でお互いの実践を公開し合い学び合うことを通して、指導力の向上・充実を図った。それによって、教科ごとの特性や各教科領域で大切にしたい視点を踏まえた交流が行われ、教員相互の学び合いにつながった。

今年度は、県からの「道徳」の研究指定と町の「主体的に学ぶ態度の育成」の指定を受けている。それに対し、今まで本校で取り組んできた研究を生かしつつ、特に「道徳」の授業に焦点を当てて研究を進めていきたい。教員同士が互いの実践を公開し、学び合うことを通して指導力の向上・充実を図り、資質・能力の向上を実現したい。また、この取り組みを学校全体で推進し、道徳的実践活動の充実も実現させながら、生徒たちが「楽しい」と感じるような学校づくり目指したいと考え、本主題を設定した。

３　研究目標

生徒が学校にくることが「楽しい」と感じられるような学校を目指し、主体的・対話的な学びを学校生活全体で取り組みながら、教員相互の学び合いを通して授業の質の向上を図る。また、特に道徳の授業においては、主体的・対話的な学びの実現を自分事として考えることや意見交流を通して図る。

４　研究仮説

教員相互の学び合いと道徳の授業での実践や道徳的実践活動を推進することで、学校に来ることが「楽しい」と感じながら、自他の幸せのために行動できる生徒が育つであろう。

5　研究内容および研究方法

（１）授業の質の向上

・外部講師、指導主事を招聘した研究会の実施
・授業交流を通しての教員相互の学び合い
・意見交流（ICT 活用方法、ホワイトボードなど）の充実
・一人一実践（授業交流）による授業力の向上

（２）多面的な生徒理解

・多面的な児童･生徒理解のための情報共有体制について検討したことの活用
・webQU の実施と分析

（３）主体的･対話的に学ぶ態度の育成

・ 生徒が主体的に授業に取り組む工夫があるか
・ 生徒が対話的に授業に取り組む工夫があるか
・ 生徒が自分事として学習目標や主題を捉えられているか
・ 生徒が意見交流を深められているか

6　研究組織

全体研究会
｜
研究推進委員（校長、教頭、教務主任、研究主任、学年研究担当）

･研究授業の授業案検討会については､各教科･領域ごとに主任を中心に実施する。

7　研究計画

回	月／日	曜	研　究　内　容
１	４／１６	水	◇全体研究会　・今年度の校内研究の概要について
２	５／８	木	◇全体研究会　・今年度の校内研究の概要について（修正） ◇Ｅライブラリ、Ｃａｎｖａ、学びポケットの活用について
	5 月中旬		ｗｅｂＱＵ　第 1 回実施
	６／９ ～１３	月 金	◇第１回授業交流
３	６／２３	水	◇研修会（指導主事 or 外部講師招聘） （・ＱＵ調査の分析について）
５	７／２３	水	◇研修会（外部講師招聘）
６	１０／２９	水	◇研修会　（指導主事 or 外部講師招聘） （・中１ギャップアンケート結果と分析）
	１１／１０ ～１４	月 金	◇第２回授業交流
	11 月中旬		ｗｅｂＱＵ　第 2 回実施
７	１１／２６	水	◇全体研究会　・ＱＵ調査の分析について
８	１／２１	水	◇研究授業（指導主事招聘・初任者）
９	２／１８	水	◇全体研究会・今年度の研究のまとめ及び次年度の研究について

Ｒ７年度　市川中学校校内研究のイメージ

〇山梨県が目指す教育Ｉ　未来を生きる子供に必要な力を育む教育の推進
・基本方針　子供主体の授業へ教育観の転換
〇市川三郷町学校教育指導重点（２）「確かな学力」を育む指導と評価に努めます。
・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につとめます。
〇市川三郷町学校教育指導重点（３）「豊かな心」を育む指導と、「生徒指導」の充実に務めます。
・教育活動全般を通じて、豊かな人間性を養い、道徳的実践力を高め、主体的に行動する力と、相手への敬意をもつ心の育成に努めます。

スクール・モットー「敬愛」
敬愛：自他の幸せのために行動できる学校
〇めざす学校像　学ぶことが楽しい学校
自ら考え、主体的に学ぶ生徒
想像力豊かで他者を敬うことができる生徒

研究主題
主体的・対話的な学びを通した楽しいと感じる学校づくり
～自分事として捉え、意見交流を深める道徳の実践～

校内研
道徳授業
道徳的実践活動

・SDG‘s 市川中オリジナル１８個目の目標
「毎日が幸せと思えるように」の実現
・学校生活は楽しく充実していますか。
「学校評価 AB85％以上」の達成
・友達の大切さがわかり、互いに励まし合い、高め合う努力をしていますか。
「道徳調査 A70％以上」の達成